

三井住友建設が22/3期業績予想を修正 直ちに格付に影響はせず、今後の利益・財務の回復を注視

以下は、三井住友建設株式会社（証券コード：1821）が22/3期業績予想の修正を公表したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は本日22/3期業績予想の修正を公表した。修正後の営業利益は83億円の赤字（前回予想は185億円の黒字）、親会社株主に帰属する当期純利益は90億円の赤字（同100億円の黒字）である。これは、①国内の大型建築工事における採算悪化に伴う工事損失引当金などを含む約200億円の損失を計上する、②受注時期の遅れなどで工事が想定よりも進捗していない、③新型コロナウイルス感染拡大による海外子会社の売上高が減少する見通しであることが要因である。
- (2) JCRでは、今般の業績予想の修正の主要因は大型建築工事に関連する一時的なものと捉えており、本修正を以って、直ちに格付を見直す必要はないと考えている。ただし、上記の大型建築工事において追加的な損失が発生する場合や今後、受注を順調に獲得できず利益回復を実現できない場合などには、毀損した自己資本の復元が進まず、格付への下押し圧力が一段と加わる。また、当社はマンション杭工事不具合問題により施主から損害賠償請求を受けている。利益回復が実現しない中で多額の損害賠償金を支払うことになると、財務リスクが高まると考えられ、係争の進捗にもより注意が必要となっている。

（担当）窪田 幹也・下田 泰弘

【参考】

発行体：三井住友建設株式会社

長期発行体格付：A- 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル